

2013年度

第53回 日本社会学史学会大会プログラム

期日：2013年6月29日（土）～30日（日）

会場：佛教大学（6号館2F・6-201教室）

☆第一日目 6月29日（土）

- I 理事会 (11時～12時)
- II 開会の辞 (12時10分～) **日本社会学史学会会長 三上剛史**
- III 一般研究報告1 (12時20分～14時) **司会 中島道男 (奈良女子大学)**
- ①国際社会学協会 (IIS) における社会連帯主義をめぐる討論の検討
中倉智徳 (大阪府立大学)
- ②E・デュルケムとアボリジニ社会—『宗教生活の原初形態』をめぐる— 門口充徳
- ③状況とハビトゥスの関係—ブルデュー行為理論再考— 村田賀依子 (奈良女子大学)
- ④ブルデューにおけるハビトゥス概念の展開 磯 直樹 (大阪市立大学)
- IV 一般研究報告2 (14時10分～15時50分) **司会 浜日出夫 (慶応義塾大学)**
- ⑤ゴフマン相互行為秩序論に対するジンメル社会学の実質的影響
薄井 明 (北海道医療大学)
- ⑥相互作用の音楽的基礎—アルフレート・シュッツの基本動機の
確認とシステム論への拡張— 森 元孝 (早稲田大学)
- ⑦ニクラス・ルーマンとアルフレート・シュッツの『同時性』 梅村麦生 (神戸大学)
- ⑧統合的な社会理論の可能性—N. ルーマンのシステム理論と
H. エサーの行為理論をめぐる論争を事例として— 高橋頭也 (京都大学)
- V 一般研究報告3 (16時～17時40分) **司会 早川洋行 (滋賀大学)**
- ⑨マックス・ヴェーバーにおける封建社会
—「契約」概念を手掛かりに— 羅 太順 (京都大学)
- ⑩Max Weberの方法論と価値自由 坂 敏宏 (北海道大学)
- ⑪「倫理」論文読解における元稿の偏執と教義学的解釈の誤謬
茨木竹二 (いわき明星大学)
- ⑫マリノフスキーとルカーチ
—社会人類学から社会 (的存在の) 存在論へ— 石塚省二 (東京情報大学)
- VI 総会・表彰式 (17時40分～18時20分)
- VII 懇親会 (18時30分～20時15分) 《1号館・食堂》

☆第二日目 6月30日(日)

VIII 一般研究報告4 (10時～12時15分)

司会 仲川秀樹(日本大学)

途中休憩

- | | |
|--------------------------------------|-------------|
| ⑬外山正一における「社会学」の位相 | 鈴木洋仁(東京大学) |
| ⑭日本におけるオーギュスト・コント | 今井隆太(早稲田大学) |
| ⑮鶴見俊輔における教育論と「大衆の知的生産性」 | 寺田征也(東北大学) |
| ⑯方法論的個人主義と方法論的原子論
—経済学認識論から学ぶこと— | 大黒正伸(創価大学) |
| ⑰シンボリック記号としての文化
—ふたつの記号理論と文化の社会学— | 白石哲郎(佛教大学) |

IX シンポジウム (13時15分～16時30分)

共通テーマ 《知識人とコモンマン》

司会 荻野昌弘(関西学院大学)

油井清光(神戸大学)

- | | |
|--|---------------|
| ●報告1 社会学とグローバリゼーション
: エリアスのスポーツ研究を手がかりに | 内海博文(追手門学院大学) |
| ●報告2 公共知識人の肖像
: ニューヨーク知識社会におけるダニエル・ベル | 清水晋作(盛岡大学) |
| ●報告3 丸山眞男VSコモンマン
: 「悔恨共同体」をめぐる一考察 | 小谷 敏(大妻女子大学) |
| ●討論者1 | 伊奈正人(東京女子大学) |
| ●討論者2 | 宮本孝二(桃山学院大学) |

趣旨説明 (13時15分～13時25分)

報告 (13時25分～14時40分)

休憩 (14時40分～14時50分)

討論 (14時50分～15時10分)

リプライ (15時10分～15時30分)

フロア・総括 (15時30分～16時30分)

【大会のご案内】

- 報告時間 自由報告は25分（報告15分、質疑応答10分）
シンポジウムの報告時間は各25分、討論者発言は各10分
- 大会参加費 一般会員2,000円 学生会員1,000円（非学生会員含む）
- 懇親会費 一般会員3,500円

- 大会・総会会場 6号館2F・6-201教室
- 会員控え室 6号館2F・6-203教室
- 理事会会場 6号館2F・6-204教室
- 懇親会会場 1号館・食堂

- 論文抜刷 1週間前までに事務局へ文書を持って必ずお申し出ください
書籍等扱い 大会当日の申し込みは一切お受けできません。厳守ください
- コピーについて コピーは個人の責任でお願いします。大会開催校および事務局では、一切のコピーサービスをお断り申し上げます
大会運営上、会員各位のご協力をお願いします

- 開催校所在地 〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96
(大会本部) TEL 075-491-2141 (代表)
佛教大学社会学部 千葉芳夫研究室

- 飲食施設 大会開催期間中の両日とも学内学食は、スクーリング期間中のため、
11時～14時のあいだ営業しております。大学近くにもコンビニ
飲食店は多数ございます
大会期間中の昼食は、各自でご用意をお願いします

- 交通機関 最寄り交通機関および学内案内は右図参照
校舎案内 (アクセスの詳細は、本学会HPおよび佛教大学HPをご覧ください)

☆日本社会史学会事務局

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40

日本大学文理学部社会学研究室

TEL 03-5317-8978 (庶務担当直通)

FAX 03-5317-9423 (学科研究室)

<http://www.jashs.jp/>

(電話でのお問い合わせは、水・木)